

第5部 神戸地域ビジョン実現に向けた取り組みの一層の展開

1 新しい広がりへ

まちづくり、地域づくり活動は実に多様です。それらは人々の生活のシーンごとに、必要に応じて活動が始まることから、この県民行動プログラムは地域づくりを目指すたくさんの方々の道筋の中から、ごく一部を取り上げているのにすぎません。

このため、私たちは、異なる人や場所、条件のもとで、自分たちの地域を住みやすくするため、知恵やアイデアを出し合って、みんなのことはみんなで決め、力を合わせて、地域づくりの新しい広がりを見いだしていきたいと考えています。

2 シンボルプロジェクトの展開

今日の成熟社会においては、県民だれもが地域社会の一員としての自覚と責任を持って、主体的に地域づくり活動に取り組んでいくことが求められています。

これまでに、神戸地域ビジョンづくりをはじめ、神戸地域県民行動プログラムや神戸地域行政推進プログラムの策定、その後の両プログラムに沿った事業の実施において、「県民と県民のパートナーシップ（地域社会の共同利益の実現への参画と協働）」と「県民と県行政のパートナーシップ（県行政の推進への参画と協働）」が進められてきました。

このように、神戸地域ビジョンの実現には、県民の様々な主体（個人、企業、NPOなど）と行政が両輪となって取り組んでいくことが大切です。シンボルプロジェクトは、県民と行政の参画と協働をより一層推進する取り組みです。このシンボルプロジェクトの展開では、「県民行動プログラム」と「行政推進プログラム」が目標を共有したり、「行政推進プログラム」の事業と連携・活用して、「県民行動プログラム」の行動提案を実践したりします。

(1) シンボルプロジェクトの名称

『神戸夢交流』

農業・漁業のグリーンツーリズムなどの多彩な交流を通して、人、団体、地域内外のネットワークの拡充を進め、神戸地域の将来像「楽しいまち・神戸」の実現をめざします。

(2) 具体的な取り組み

「神戸地域ビジョンの実現にかなうもの」「県民行動プログラムの行動提案にあり、すでに実践活動がなされているか、今後実施が予定されているもの」「行政推進プログラムの事業として取り組まれるもの」を満たすものがシンボルプロジェクトの事業として適当と考えます。

(事業例)

- ① 農業・漁業を学び、体験し、楽しみ、農漁業地域と市街地域が交流する「農業・

漁業のグリーンツーリズム」

- ② 六甲山の各施設が豊かな自然を活用したプログラムなどを提供する「六甲山でのエコツーリズム」
- ③ 外国人県民、留学生などと県内施設視察や文化交流などを行う「多文化交流」
- ④ 商店街に出会い、ふれあいの空間づくりを企画し、実践する「商店街でのふれあいの空間づくり」
- ⑤ 神戸地域の県民の交流の集大成となるイベントとして開催する「神戸地域夢まつり」

(3) 事業展開の方法

- ① 毎年度、神戸県民局と神戸地域ビジョン委員会が、プロジェクトのテーマを決めます。そのテーマは単年度のものでも複数年度のものでも結構です。
- ② 次に、そのテーマに沿った事業計画を立てます。その事業は、「神戸県民局が単独で取り組む事業」「神戸県民局と神戸地域ビジョン委員会が協働して取り組む事業」「神戸地域ビジョン委員会が取り組み、神戸県民局が支援する事業」に分類されます。
- ③ 事業の実施にあたり、神戸県民局と神戸地域ビジョン委員会が協働します。
- ④ 実施の結果を、神戸県民局と神戸地域ビジョン委員会が「指標」を使って確認し、次年度の事業計画や実施方法などに活かしていきます。

(4) 指標

シンボルプロジェクトの広がりを県民と行政が確認することができるよう、神戸地域の特色があり、県民にもわかりやすい形の指標を設けます。

毎年度その指標の数値を確認し、増やしていくことをめざします。

① 農業・漁業のグリーンツーリズムの場合

指標	5年以内で（神戸地域ビジョンができてから）、農業又は漁業を体験したことがある人の割合
----	--

② 六甲山でのエコツーリズムの場合

指標	5年以内で（神戸地域ビジョンができてから）、六甲山に上ったことがある人の割合
----	--

③ 多文化交流の場合

指標	外国の文化に触れて感動したことがある人の割合 外国人と直接に交流したことがある人の割合
----	--

④ 商店街でのふれあいの空間づくりの場合

指標	住んでいる地域の商店街や駅前に活気があると思う人の割合
----	-----------------------------

シンボルプロジェクトの展開

『神戸夢交流』

～多彩な交流による楽しいまちづくり～

